

日本農業法人協会の概要と会員向けサービスについて

< 目次 >

- I 現状
- II 当協会の主な活動
 - (1) 調査・政策提言活動
 - (2) 次世代農業サミット
 - (3) 会員サービス事業(保険、外国人材事業、各種研修事業)
アグリサポート倶楽部
ファーマーズ&キッズフェスタ その他
 - (4) 情報発信(SNS等、協会HP)について

令和7年5月

公益社団法人日本農業法人協会



I.【現状】 日本農業法人協会の現状

日本で唯一の全国的な農業法人のネットワーク組織

(名 称) 公益社団法人日本農業法人協会

(所在地) 東京都千代田区二番町 9 - 8 中央労働基準協会ビル 1 F

(設立日) 平成 1 1 年 6 月 2 8 日

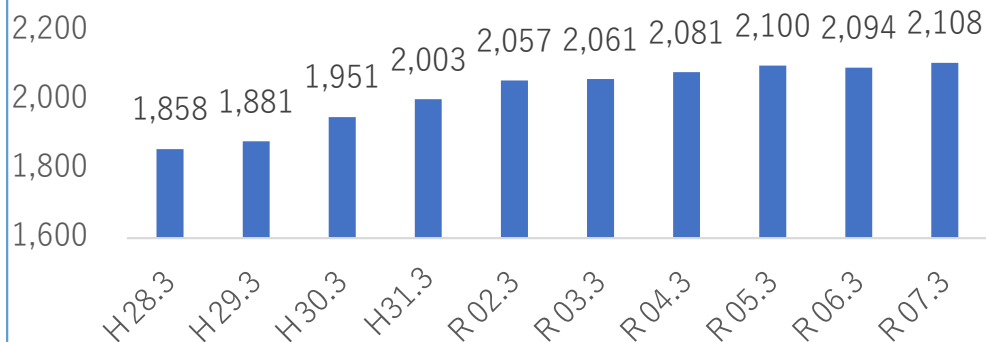
(目 的) わが国農業経営の先駆者たる農業生産法人その他農業を営む法人の経営確立・発展のための調査研究、提案・提言、情報提供等の活動を進めることにより、わが国農業・農村の発展と国民生活の向上に寄与する

(会 員) 正会員 : **2,116**

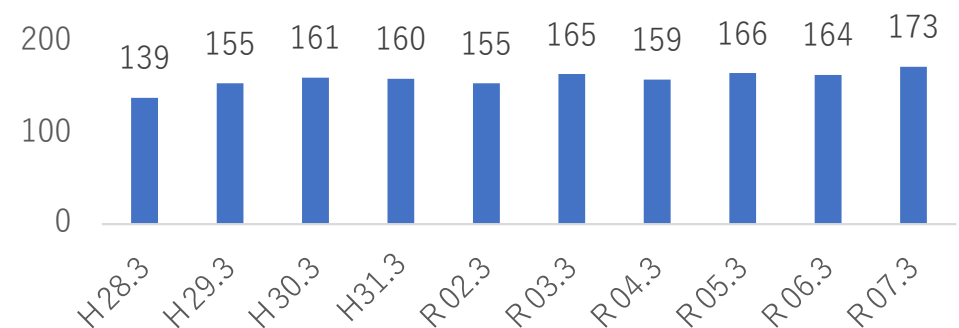
賛助会員 : **7** (一社) 全国農業会議所、J A 全中、J A 全農、農林中央金庫、J A 共済連、(一社) 全国農業経営コンサルタント協会、(一社) 日本フードサービス協会

アグリサポート倶楽部会員 : **168**

正会員数の推移



A S C 会員数の推移



Ⅱ－(1). 【当協会の主な活動】 調査・政策提言活動 会員意見等を集約し、毎年３月に骨太の政策提言を行っています。



2025 年農業経営者からの提言書（概要） ～食料の安定供給の永続・世界と戦える農業経営に向けて～

2025 年3月 13 日(木) 公益社団法人 日本農業法人協会

目指すべき姿

- ◆ 会員は我が国の農業経営のリーダーとして、自己責任と創意工夫で自立した経営を確立し、不断の改革改善により世界に通用する強靱な経営を続け、日本農業の発展に貢献していく。
- ◆ 我々は農業界の公益社団法人として、農業政策の展開方向を踏まえた政治、行政及び国民に向けた積極的な提言により、不合理な規制を排除し農業経営の自由度を向上させ、安全・安心な国産農産物の生産と国民への安定的な食料供給の責めを果たし、我が国経済及び地域社会の発展に貢献する。

政策提言の主な事項

農地の集積・集約化 ・有効利用	○ 農地中間管理機構の積極的活用によって農地集約が進むよう、農地バンク及び市町村等に対する支援を行うこと。 ○ 農地の大区画化に加えて、汎用化等きめ細かな基盤整備を速やかに実施すること。 ○ 市町村の農用地区域の指定又は変更を厳格化すること。 ○ 農地の有効活用に向け、需要があり国内で不足する作物については、生産性向上及び生産量確保の観点から、適地適作を前提に、農地の地目にかかわらず、品質や収量に応じてインセンティブを与える政策を長期的に実行すること。
農畜産物等の 適正価格の実現	○ 生産者が有利な条件で農畜産物及び農業生産資材等の安定した取引ができ、低コストでの農畜産物の生産及び再生産が可能な農畜産物の価格形成がなされるよう、加工・流通構造及び農業資材業界の改革を強力に推進すること。 ○ 農業生産資材等の価格等について、諸外国の調査を継続的に実施・比較分析の結果を踏まえ、農業資材に関する法制度等の点検及び必要な改善を図ること。 ○ 農業用施設の設置コスト増加の要因に繋がる各種規制等を順次、抜本的かつ速やかに見直すこと。
輸出拡大・ 農業 DX の推進	○ 国産農畜産物の生産振興に向けて、国産農畜産物の輸出拡大に資する政策を推進するとともに、総合商社や全農等の大手輸出事業者が主体的かつ積極的に輸出に取り組むよう強力に働きかけること。 ○ スマート農業技術開発は生産現場での使い勝手が良い実用的なかつ費用対効果の高いものにするるとともに、野菜や果樹等に対する研究・開発を強力に推進すること。
農業人材等の 確保・育成	○ 新規卒者の他、女性や外国人等の多様な者から選ばれる産業となるよう、農業における労働環境の整備・改善を推進すること。その際、農業の季節性や特異性等を考慮するとともに、雇用する農業者側の意見を十分に汲み取ること。 ○ 農業経営体が経営力・経営技術を高度化するため、官民連携により、既存の研修等の体系化・可視化をより一層進め、農業者への学習機会の周知及び活用を促すこと。
持続可能な 農業の実現	○ 農業者が安心して経営できるよう、農業者のニーズや実態に即した経営安定対策の見直し・充実を図ること。 ○ 財務基盤の強化に向け、農業経営基盤強化資金(通称「スーパーL 資金」)制度の更なる高度化や、農業経営への投資を促進する施策等を推進すること。 ○ 家畜伝染病予防法に基づく防疫対策・飼養衛生管理基準の運用は、農業者の経済的負担にも配慮し、科学的かつ生産現場で運用可能なものとする。 ○ 我が国農業及び国産農畜産物の生産振興の重要性に対する国民の理解醸成に向けて、産学官連携による食農・食育イベント開催の他、学校等との連携による食育及び食品ロス削減等への取り組みを国がリードして執り行うこと。

Ⅱ－(1)．【当協会の主な活動】調査・政策提言活動 【調査・政策提言活動】『2024年版 農業法人白書』

当協会では、年度ごとに行う「全国農業法人実態調査」の他、時事の課題にあわせタイムリーな会員等からの情報収集・意見集約を行い、プロ農業経営者からの政策提案・提言活動に反映しています。

2024年版 農業法人白書サマリー

- 平均売上高は**4億円**で、10年前と比べ**約128%**の水準。3年連続最高値を更新。
- 経営課題は、4年連続で「**資材コスト**」が**1位**。経営リスクは天候、労働力不足。
- 経営規模は全国平均と比べ、**稲作約37倍**、**露地野菜約32倍**、**肉用牛約46倍**。
- 経営者の平均年齢は58.4歳で、全国平均より**9.4歳若い**。
- 女性が経営に参画している割合は**52.4%**で、全国平均より14.6ポイント高い。
- 輸出に取り組む経営体は**14.2%**であり、平均輸出額は約2,000万円。
- 農地は1社あたり平均**33団地**であり、50a未満の小規模な団地が約5割を占める。



調査結果の概要



【最新版】「2024年版農業法人白書」全体版は
コチラ ▶▶▶



協賛企業



協友アグリ株式会社



クミアイ化学工業株式会社

Ⅱ－(2). 【当協会の主な活動】次世代農業サミットについて

■次世代農業サミット（年2回、7月・1月開催）

若手農業者のネットワークの構築や次世代農業の創造・発展に向けた研修会を開催！

〈第13回大会〉2024/7/9(火)～10(水)

■場 所：JA長野県ビルアクティホール（長野県長野市）

■テーマ：時代を創る次世代農業：

経営戦略×農業のポテンシャル

■参加者：128名（うち農業者77名）



〈第14回大会〉2025/1/10(金)～11(土)

■場 所：東京ビッグサイト会議棟（東京都港区）

■テーマ：農業者30万人時代！

我々次世代は何をアップデートすべきか

■参加者：212名（うち農業者129名）過去最多!!

次回は、
2025/7/7-8@宮城
で開催！



▶facebook: <https://www.facebook.com/jisedai.nogyo.summit/>



参加者の声

・普段であれば聞きにくい質問にも、講演者が腹を割った回答をしてくれたのが良かったです！

・全国の経営者とディスカッションすることで、自身の農園での課題解決の糸口が見えました！

Ⅱ－(3).【会員サービス】保険サービス

メリット

正会員向けに**割安・おトクな保険料**で加入できる団体保険制度を提供しています！！
「もしも」の時に備える保険・サービスを各種ご用意しております。



■ 会員限定 団体保険制度のご案内（保険等一覧）

No.	名称		概要	会員メリット
①	【毎年10月1日開始～1年間】 傷害補償制度 	記名式傷害保険	経営者、従業員向けのケガに備える普通傷害保険。加入者一人ひとりについて、複数の加入パターンから任意で選択可能。	団体割引等により、 5%の割引！！ （令和8年10月1日までの保険期間での適用となります）
		業務災害補償保険	従業員等の労災事故等によるケガの補償や法律上のトラブル・訴訟リスク等の賠償補償に備える保険。事業所内の全ての方を包括して補償することが可能。	複数社からの見積り取得により、 保険料を比較の上、最適なものに加入できます！！
②	【毎年4月1日開始～1年間】 食品あんしん制度 		製造・加工、集荷販売した商品により、事故等が発生した際に保険金を支払う制度。（PL保険・食品リコール保険・品質費用保険）	団体割引の他、認証制度取得による 割引を用意しています！！
③	【毎年3月15日開始～1年間】 家畜再生産費用補償保険		家畜が事故や疾病により死亡した際に、代替家畜導入以降の飼育・肥育生産コスト等の経営継続費用の一部を補償する保険。	・加入 手続きが簡単！！ ・保険料が 割安！！ ※中途加入不可

Ⅱ -(3).【会員サービス】情報提供サービス

メリット

会員の皆様の経営発展に資する様々な情報提供を行っています！！

■ 情報提供サービス一覧

No.	名称	概要	会員メリット
①	“農業を強くする情報紙” Fortis （フォルティス） ・毎週木曜日発行	農業法人の経営に役立つ法務や税務、労務、販売戦略などのテーマを週替わりで連載します。号末の「お知らせ」欄には、会合・セミナー等の開催情報や、当協会からお伝えしたい最新情報を集約してお届けします。	協会動向や最新の農業経営に役立つニュースがタイムリーに受け取れます。
②	農業情報おまとめ情報便 (夏冬発行)	賛助会員およびアグリサポート倶楽部会員の商品・サービス等の情報を協会がとりまとめて、会員の皆様に一括して封書で発送するサービスです。(WEB申込)	企業の持つ商品等の最新情報を業種ごとに見やすく入手できます。
③	経営支援情報提供 ・経営支援プロジェクト ニュース(不定期発行) ・技術ニーズ・シーズの マッチング	商談会や海外展示場/海外視察/金融機関の新商品等について、経営支援プロジェクトニュース(不定期発行)として会員の皆様に都度情報発信を行います。 アグリサポート倶楽部会員等の経済界企業の技術シーズと会員のニーズをマッチングする支援を行っています。	会員ならではの割引料金や優待料金でご利用いただける様々なイベント等の情報提供や、経営発展、新技術導入に資する支援を行っています。
④	信用情報調査サービス	大手信用調査会社のサービスを利用し、新たな取引を始めるとき、既存の取引を拡大するときなど、取引先企業に関する参考情報を提供します。 ※全ての企業を網羅するものではありません。	相手先の簡単な情報(社名・住所等)のみで手軽にスピーディに参考情報を取得できます！

Ⅱ－(3).その他ご利用いただいている主な事業・サービス等

名称	概要
■ 農作業安全基礎研修会 	農作業安全衛生に資する講義等を収録した動画教材（全国農業改良普及支援協会・日本農業機械化協会と協力）を都道府県農業法人組織に提供しています。<u>都道府県組織や会員法人の社内で行う農作業安全研修等にご利用いただける教材各種をご案内します。</u>そのほか、希望に応じて研修講師の紹介や各種情報提供を行っています。
■ 雇入れ時農作業安全研修会 	農業分野では雇入れ時教育の一部省略が認められていましたが、労働安全衛生関係法令が改正され、2024年4月1日から、この省略規定がなくなり全項目について教育することが義務付けられています。新規雇用する外国人等に対し、雇入れ時教育を代行する研修会を開催し、受講を促すことで、農業者の法令順守と農作業安全の向上に寄与していきます。 
■ 外国人技能実習生受入事業 ■ 技能実習生研修事業 ■ 特定技能支援事業 	【外国人技能実習生受入事業】 会員における主に農業分野の外国人技能実習生の受入を支援。一般監理団体として制度の適正な運営・円滑な受入れ支援の推進を図っています。 【外国人技能実習生農業研修会】 農業分野に従事する技能実習生が農業分野の専門知識、用語、日本における農業一般知識を習得することを支援する研修事業を行っています。 【特定技能支援事業】 特定技能外国人のより有効な活用を目的に、調査業務、相談窓口業務、登録支援機関業務、普及啓発業務を行っています。登録支援機関をお探しの場合、ぜひご相談ください。当協会で監理した実習修了予定者の紹介が可能で、人材派遣会社と連携し、特定技能外国人の人材派遣にも対応いたします。

Ⅱ-(3). アグリサポート倶楽部の各種サービス

●アグリサポート倶楽部（略称「ASC」）とは？

- 当協会の活動に賛同し「農業法人の応援団」となって頂く企業等がASC会員です。県組織の活動や正会員の要望等に応じてマッチングを行います。
- 当協会では、ASC会員と全国各地で農業経営に励んでいる正会員との交流・提携及び相互理解を深めて頂くため、各種サービスを用意しております。

●ASCの各種サービス例

届けるサービス

ASC会員から正会員へ商品サービス等のお役立ち情報が届きます。

【有料情報提供サービス】

商品紹介やアンケート等を正会員に発信できる有料情報提供サービスです。夏冬定期発行の「おまとめ便」と、随時発行の「耳より情報」により情報提供します。

交流できるサービス

ASC会員と正会員、又は関係者同士の交流ができます。

【リアル展示会】

年に2回、ASC会員の出展ブースを正会員が対面にて見て回る交流会を開催しております。

【テーマ別交流会】

正会員とASC会員が講師で出演するなど、ご参加頂けるオンライン交流会を開催企画しております。（不定期の開催）

【お申込み先・サービス詳細について】

▶ASCに関するご案内 http://hojin.or.jp/recruitment/i_annai-html/

（ご参考）ASCのご案内チラシ



Ⅱ-(3). ファーマーズ&キッズフェスタ

都心の消費者・子どもたちと農林水産業をつなぎ、子どもたちに農業の魅力と楽しさを発信。
未来の懸け橋となることを目指した、体験型イベント「ファーマーズ&キッズフェスタ」

ファーマーズ&キッズフェスタ2025開催実績

○開催日時：2025年3月1日(土)・2日(日) 10:00~16:00

○場所：代々木公園 イベント広場

出展概要

- ◇出店者数 56（農業体験含む）、出店テント数 83（キッチンカー含む）
- ◇ステージコンテンツ数 7（延べステージ回数 11）
- ◇その他 大型農機展示・乗車体験、SDGs企画、能登半島地震被災地支援の取組、収穫体験・牛の模型で乳絞り体験等の各種ワークショップの実施

天候

- ◇2025年3月1日(土) 天気：晴れ 最高気温：19.3℃
- ◇2025年3月2日(日) 天気：晴れ 最高気温：22.1℃

来場者数

- ◇2024年3月1日(土) 22,000人
 - ◇2024年3月2日(日) 26,500人
- 2日間合計 48,500人



「ファーマーズ&キッズフェスタ2026」開催概要

日時：2026年2月28日(土)～3月1日(日) 10:00~16:00（雨天決行）

場所：代々木公園（東京都渋谷区）イベント広場

主催：公益社団法人日本農業法人協会

運営：ファーマーズ&キッズフェスタ実行委員会 制作：NHKプロモーション

入場料：無料 想定来場者数：1日あたり約2万人

イベントサイトでは、開催の様子を動画で紹介しています。ぜひご覧ください！

イベントサイトでは、リアルイベントのお知らせを行うとともに、会員商品が購入できるサイトを紹介する「農業者SHOP」、農業法人やASC企業が行う農業・食育に関する動画を紹介する「農業者movie」を掲載中！



ファーマーズ
&
キッズフェスタ

イベントサイト：<https://farmerskids.jp/>



Ⅱ-(4). 情報発信（SNS等）について

Podcast 農業の社長ラジオ



日本農業法人協会

▼視聴はこちら！



■ 毎週配信 ■ スマホやPCで聴ける

ポイント1

全国の農業法人の経営紹介

ポイント2

いつでもどこでも聴ける

ポイント3

仕事しながら聴ける

Spotify、Apple Podcast、Google Podcastで配信中！

それぞれのアプリで「農業と社長ラジオ」と検索していただくと番組が出てきますので、番組のフォローをお願いします！



公式チャンネル



公式LINE アカウント



▼登録はこちら



■ 最新情報がスマホに届く

経営に役立つ情報を
LINEでお届け！

右のQRコードから「友だち追加」していただくと、自動で届きます。

- ✓当協会の活動情報
- ✓補助事業の情報 など

facebook



■ 手軽に情報をGET

Facebookでも
情報発信中！

右のQRコードからアカウントのフォローをお願いします。

- ✓当協会の活動情報
- ✓補助事業の情報 など

Ⅱ-(4). 情報発信（協会HP）について



■コンテンツ一覧

No.	名称	概要
①	新着情報	政策提言、レポート、総会・セミナーや次世代農業サミット等の開催など、協会からのお知らせを時系列で掲載
②	当協会について	協会組織に関する情報を紹介 会長の挨拶、協会の歴史、農業法人とは?、協会の組織 協会へのアクセス、ビジョン、定款、役員名簿、会員名簿 事業計画および報告、予算および決算、その他、 関連団体リンク、お問い合わせ、寄附のお願い ASC会員の各社HPへリンクしています。
③	事業・活動	協会の行う事業や取組みについて紹介 政策提言・調査研究、食と農の連携、人材確保・育成支援 外国人材、女性活躍・農福連携、経営改善・事業継続 保険サービス情報、テーマ別のグループ研究活動
④	会員募集	新たに入会する方法について紹介 ○正会員（農業者） ○アグリサポート倶楽部（農外企業）
⑤	賛助会員・ASC会員限定	賛助会員・ASC会員に限定した情報を掲載 会員へのお知らせ、日本農業法人協会情報紙 Fortis バックナンバー オンライン交流会、ASC登録情報変更フォーム
⑥	正会員限定	正会員（農業者・都道府県事務局）に限定した情報を掲載 会員へのお知らせ、日本農業法人協会情報紙 Fortis バックナンバー 政策提言へのご意見、セミナー・研修会動画、オンライン交流会 会議記録の公開

閲覧にはID/パスワードが必要です